



[特集]

# 天にみ栄え地に平和

## 宮城学院創立百二十五周年

アメリカのドイツ改革派教会シャパンミッションは、日本で依然として差別と抑圧のもとにある女子への教育の必要性を本国の伝道局に訴え続けた。アメリカの外国伝道局は、この訴えに応ずるべく、二人の婦人宣教師プールボーとオールトを日本へ送り出したのでした。

最初の生徒らの姿がおきめられていた一枚の報告書「REFORMED MISSION SCHOOL」は1886(明治19)年、日本に降り立った二人がこの仙台の地に女学校を創設した事を知らせると共に、さらなる支

援を願うアメリカの教会員たちに送られたものです。

キリスト教に厳しい時代の中、宮城女学校はアメリカの人々に「MIYAGI JO GAKKO」と覚えられ「ドイツ改革派教会傘下の各個教会は「OUR GIRLS' SCHOOL」のために「婦人海外伝道会」を組織しました。彼らは献金を捧げ伝道局を通して宮城女学校の校舎と寄宿舎を建てただけでなく、宣教師を送りつづき、生徒に奨学金を出して、理想の教育ができるように支え続けたのでした。

しかし、昭和16年、日本の開戦と同

時にすべは戦争の渦に飲み込まれてしまいました。昭和19年、宮城高等女学校の生徒たちは、空襲が激しくなってきた横須賀海軍航空技術廠へ、翌年には多賀城海軍工廠へ、学徒勤労動員」として送り出されたのでした。

戦後の宮城学院は、教育改革の行われる中、先達の遺産を受け継ぐべく改めてキリスト教に基づく女子教育の使命を確認し、明るい希望のもとに出発しました。すでに戦時中からクリートをはじめ、ハンセンリンゼーなど宣教師たちの働きにより戦

後復興への備えがなされてきました。アメリカの教会は、いまだ記憶に新しいガナー、カンディフ、ランデイス等の宣教師を送り出しました。同時に多額の献金をも提供しました。こうして宮城学院は、中学校、高等学校、そして女子大学と短期大学、幼稚園を開発して発展させることが出来ました。そして、1980(昭和55)年には新キャンパスへ総合移転を果たし、念願であった大学総合学園として創立125周年の今日の日を迎えることが出来たのです。

### 創立記念墓前礼拝

残暑の中にも、時折吹く風に秋の訪れを感じられた9月15日、創立者ならびに宮城学院に縁ある方々が眠る仙台市北山のキリスト教墓地で創立記念墓前礼拝が行われ、同窓生・本学院関係者ら多くの人が集いました。

創立者押川方義、初代校長エリザベス・R・プールボーをはじめ、一二五年に及ぶ本学院の歴史に尽力した人たちの信仰を覚えて讃美歌、祈りが捧げられました。松本学院長より「迎える人がいた」と題し使徒言行録のパウロのローマ到着と重ね合わせ、日本でも宣教師らを迎え入れ、教えを受け入れた多くの働き人が宮城学院の礎となったこと、何よりも神がそうなるように迎えたことを話され、本学院への神の導きと守りに感謝をもつて礼拝が守られました。



明治 大正 昭和 平成

1886 1900 1912 1926 1946 1947 1948 1949 1950 1956 1989 1995 2011

REFORMED MISSION SCHOOL  
MIYAGI JO GAKKO



▲REFORMED MISSION SCHOOL  
Founded in September 1886, by Miss Lizzie R. Poorbaugh and Miss Mary B. Ault, Missionaries of the Reformed Church in the United States, Miss Ault is on the picture among the smaller girls, Miss Poorbaugh is seated near the center, with her niece Kitty on her lap, Kitty is known by her white apron.



▲仙台空襲で焼け落ちた第一校舎



▼25周年記念写真(第一校舎)



▲50周年記念写真(第二校舎)

MIYAGI GAKUIN

Junior high school

Senior high school

Women's College

Junior College

Kindergarten

Graduate School



▲大学本館



▲幼稚園卒園式

### our 130 Missionaries

Elizabeth R. Poorbaugh, Laura P. Moore, Lena Zarfhub, Henry K. Miller, Sadie Lea Weidner, Allen K. Faust, Carl D. Kriete, Mary B. Ault, Emma F. Poorbaugh, Mary C. Hollowel, Paul L. Gerhard, Lucy M. Powell, B. Catherine Pifer, Nina Zaugg, L. Holmberg, Lehard, Kate I. Hansen, Lydia A. Lindgren, J. M. Stock, William G. Seiple, Clara Mosser, Anna G. Schulz, Margaret J. Leader, Ollie A. Brick, Mary E. Ernst, Margaret S. Ankeney, Florence A. Seiple, Lola Eleanor Lindner, J. A. Anderson, Helene A. Baker, Elsie J. Seymour, Mary A. Vornholt, Rosina E. Black, Elizabeth C. Zetty, Catherine L. Nau, Kietze, Wierzel, Aileen S. DeChant, Myrtle King, Laura E. Oulinger, Gertrude E. Paulsen, Mary E. Hoffman, Katherine B. DeChant, Louise V. Polson, Edith H. Husung, Heloise L. Wilson, Anita Winter, Henrietta S. Cook, Leah E. Cook, Ruth Knoll, Helen I. Weed(Gerhard), Helen E. Plimley, Selma G. Grogan, Helen E. Knoll, Mary E. Hoffman, Netok, E. M. Miller, E. C. Johnson, Elma E. Salk, Harriet P. Smith, Margaret Mary Garman, Anna M. Ankeney, Alice M. Elsie, Anna G. Knoll, Edith Kriete, Mary E. Hoffman, Helen E. Plimley, Margaret Kriete, Eleanor B. Porter, Ruth H. DeChant, Miriam Hansen, Eleanor J. Zip, Edna M. Sipple, Carl S. Sipple, Martha E. Wamman, Audrey A. Toob, Marjorie, Rayne, Gertrude B. Hoy, Betty J. Hoffman, Marie MacKinnaman, Molly L. McNamee, Elizabeth B. Knoll, Ruth Felicia Snyder, Margaret Ann Garner, William S. Candiff, Dorothy W. Kuhn, Mrs. Kuhn, Lenell J. Landis, James E. Heister, Tove M. Petersen, Mary E. Olson, William, Doris A. Getz, Gene S. Getz, Paul B. Baugartner, Helen B. Baumgartner, Elizabeth L. Nehans, Marjorie Sipple, E. J. Auchenbach, Corbett R. Sherman, Helen DeChant, Nancy E. Reynolds, Eleanor Hiza, Janet A. Hanauer, Alaine A. Albrecht, Allen L. Irwin, Marie R. Irwin, Patricia A. Flanagan, Lurline V. Sullivan, Janet E. Reynolds, E. MacVicar, Heinz, F. H. Myrtle, M. Bur, O. Charles Pumpkins, Nina, Kalliope, David Vergin, Leslie Vergin, Wilkerson, Allison, New, Lucille Hall

1747 The Reformed Church in the United States 1934 The Evangelical and Reformed Church 1961 The United Church of Christ

宮城学院資料室



講演される神戸女学院大学学長飯謙氏

でキリスト教学校として果たすべきこと一を主題に行われました。はじめに創立記念礼拝が守られた後、神戸女学院大学学長飯謙氏を講師に迎え「震災―生徒・学生、地域、建学の精神」と題し講演が行われました。同校は、阪神大震災を経験しており、当時、キリスト教学校としてどのようなことが求められたのか、被災後に取り組み課題など、本学院にとって今後を考える上で、大変参考になる研修会となりました。

創立記念日の前日、17日に建学の精神研修会が教職員を対象に行われました。今年3月11日の東日本大震災の被災経験を踏まえ「建学の精神に基づく教育とは―震災という試練の中

### 建学の精神研修会

## 聖書に聞く

### 大沼 隆

途方もない大惨事が起こったこの年、くしくも創立百二十五周年の年と重なった。だれにとっても生涯忘れられない年になると思う。あの日からすでに半年以上たった今なお多くの人々の胸に刻まれつつある言葉の一つが「絆」ではないだろうか。

掛け替えのないものとのつながりが断ち切られた痛切さ

は癒されない。永遠に失われたかのような喪失感。それは過ぎた日々の思い出としてしか残らないのだろうか。

だが、あの追悼の式に歌われた讃美歌にも似た、なにかしら不思議な響きを伴って「絆」の一語がよみがえってくるのは何故だろうか。以前はどこか頼りなげに感じていたのに、今は微かながら違っているように思われるのはどうしてか。目には見えないけれど、確かな結びつきという感覚がじわっと生じる。聖書の

言葉がそういう力を醸し出す。「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝」。ヨハネはイエス・キリストの比喩的な言葉を記した。枝であるあなたがたは、だから幹であるキリストにつながっていなさい。「そうすれば、豊かな実を結ぶ」と。読み進むとそれは「愛の内に留まること」に至る。

### わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。

(ヨハネによる福音書 15章5節)

かのように、安穩に暮らして来た私たちは、この年、巨大な惨劇を通して天から問いたたせられたように思う。あなたの生

と多くの人々との「絆」で結ばれながら生きてきたのか。そして、今も!

悲しみの出来事を通して私たちは神の愛に触れる。愛とは徹底的につながり続けることなのだ。逝った人々も復活のキリストと共に私たちがいる。生か保ち続けている。生かされていく私たちが、この年、苦しみや深い失意を分かち合おうと身を挺し、苦し、祈った人々、このころと財とを寄せ、言

葉を伝えてくれた多くの心温まる支えに「絆」を見た。ぶどうの木につながっている枝が実らせている一房一房の輝きは美しくまばゆい。(理事)

MG à la carte [宮城学院トピックス]

宮城フェンサーの想いを受けて

フェンシング競技・インターハイ第5位
高校2年 永瀬 夏帆

「北の空 君に無限の可能性」を大会スローガンとして行われたインターハイ。私は青森県むつ市で開催されたフェンシング競技に参加してきました。今年

は昨年の成績を上回るベスト4を目標にしていました。東日本大震災以来、練習場の確保がで



きず、納得のいく練習ができないう焦りや不安でいっぱいでしたが、震災被害の大きかった沿岸部に住む宮城のフェンサーの分まで精一杯頑張り、勇気と元氣、そして「どんな時でも目標を見失わず、前向きに夢を持ち続けよう」と自分に言い聞かせ大会

2010年度大学卒業生および修了生のつどい

半年遅れの卒業パーティー

創立記念日である9月18日。東日本大震災の影響により学位記授与式が行えなかった大学卒業生・修了生ら300人余りが桜ヶ丘キャンパスに集い、半年遅れとなった卒業パーティーが行われました。

礼拝堂で記念礼拝が守られた

後、小ホールに会場を移しウィンドオーケストラによるオープニングセレモニーでパーティーの幕が開きました。吉崎前学長からのビデオレターによる心温まるメッセージや在学時の映像が映し出され、集まった参加者からは歓声が上がりました。ガウンタ



イムでは卒業ガウン姿での写真撮影が行われ、改めて卒業・修了の喜びをかみしめつつ、半ばりに会う旧友・恩師らとの親交を温めていました。

ひらかれた手

宮城学院キリスト教センター 樋口 由希

7月15日、YWCA聖歌隊は、兵庫県西宮市で行われた「佐渡裕プロデュースオペラ『こうもり』前夜祭」に参加しました。4月に宮城学院礼拝で捧げた石川啄木の『一握の砂』から三行詩三題の鎮魂歌をステージで捧げました。前夜祭に招いてくださった、西宮公会教会、西北活性化協

議会の方々は一丸となり前夜祭を盛り上げ、様々な世代の方で広場一杯でした。ステージには佐渡さんも出演し、『こうもり』のハイライトや多彩なパフォーマンスが行われ、また屋台では東北の物産展や地域の方の温かさが伝わる出店が軒を連ねました。今回、西宮公会教会につながり、音



指揮者・佐渡裕氏とともに

楽や言葉を通して交流したことで、自分たちの外に目を向け、手を開き差し伸べていくための勇気を授かったように思います。

共に生きる

NPO法人ACE理事・事務局長 白木 朋子



宮城学院を卒業してから17年。中高ではバドミントン部に所属し、仲間と楽しく部活動に取り組んだことを思い出します。高校1年の時には1年間休学してアメリカに留学し、ホームステイしながら現地の公立高校で学びました。帰国後はひとつ下の学年に編入し、2つの学年にまたがって生涯の友人ができたことは、私にとって大きな財産となっています。

噴水

OG短評

「共に生きる」。「隣人を愛する」など宮城学院で学んだ多くの言葉が今の自分の基礎となっていることを強く感じています。この精神を胸に、子どもが希望を持って暮らせる社会の実現のために、今後も支援の輪を広げていきたいと思っています。

- プロフィール
1990年 宮城学院中学校卒業
1997年 宮城学院高等学校卒業
1994年 ACE設立に参加 活動開始
1998年 明治学院大学国際学部卒業
英国大学院留学
(南苑 人類学修士課程修了)
2001年 民間コンサルティング会社勤務
2005年 NPO法人ACE理事・事務局長
ACEホームページ www.acepan.org

こころの劇場

劇団四季公演 ヌタと不思議な仲間たち

劇団四季の「こころの劇場」は毎年、市内の全小学6年生約9,000人が鑑賞しています。しかし、今年は震災の影響で多くの劇場・ホールが使用困難な状況にあり、開催が危ぶまれています。宮城学院では、震災の影響を受け中止を余儀なくされている文化的行事をひとつでも多く実現できるよう、大学講堂を一般に貸出す取り組みを行っており、例年より公演時期が遅れたものの9月5日〜8日全8公演で劇団四季による「こころの劇場」が大学講堂で実現しました。

演目は、本学卒業生、梶賀千鶴子さんの脚本『ユタと不思議な仲間たち』。美しい東北を舞台に、都会から引っ越してきた少年・ユタと、生きたくても生きることが叶わなかった座敷わらしとの

心の交流を描いたミュージカルです。訪れた小学生らは、舞台で繰り広げられる歌やダンス、そして仲間との絆を想うユタの姿に目を輝かせていました。



MG行事カレンダー
10月: 入園願書配布、園庭開放、始業式、オープンキャンパス、校外研修旅行、第1回入園説明会、中体連新人大会、秋の遠足、スポーツ大会、大学祭、生徒総会、大学院第1回入試、中学校入試説明会、第2回入園説明会、宗教改革記念礼拝、高校入試説明会、音楽科コンサート、宗教改革記念礼拝。
11月: 入園願書受付、あそびのあしあと、合唱コンクール、校外研修旅行、職場訪問、視聴覚教育全国大会、公開保育、中学校入試説明会、推薦入学試験。
12月: 園庭開放、オープンキャンパス、執行部選挙、クリスマス礼拝、クリスマス祝会、クリスマス礼拝・終業式、冬期休業、第2回新入園児オリエンテーション、クリスマス礼拝・終業式、冬期休業。

宮城学院の公開クリスマス行事
●クリスマスイルミネーション点灯式
●宮城学院クリスマス礼拝(公開特別礼拝)
●宮城学院チャペルコンサート
●中学校クリスマス礼拝(公開礼拝)

幼稚園だより



♪なつまつりコンサート

今年のなつまつりは、礼拝堂でのコンサートから始まりました。

2部構成からなるコンサートの第1部は、宮城学院女子大学音楽科附属音楽教室の弦楽アンサンブルコース生による演奏です。トランペット(ホルスト)やトランペット(チャイコフスキー)など、耳にしたことがある有名な作曲家の音楽が、礼拝堂いっぱいに広がりました。間近で聴く弦楽の迫力と音色の美しさに、子どもたちは静かに耳を傾けていました。大好きな♪となりのトトロや崖の上のポニョを、会場のみんなで大きな声で歌いました。かわいい声に誘われて、トトロやポニョも遊びにきていたかもしれません。

第2部は、宮城学院女子大学礼拝オルガニスト 秋山麻衣子さんによるパイプオルガンの演奏です。♪主よ、人の望みの喜びよ(バッハ)などを聴いて、パイプオルガンの音がでる仕組みや、パイプオルガンからは、色々な楽器の音がでることも教えてもらいました。最後は、残りの夏休みも神様に守られて、元気で過ごせますように願いを込めて「うみでおよく」のさんびかをみんな元気な歌に歌いました。



～コンサートの後は…お楽しみ!

礼拝堂前の通路には、ちょうちんが並び、気分はずっかりお祭りムード。浴衣や甚平を着てきた子どもたちもいて、夏祭り気分を盛り上げました。

- 水ヨーヨー釣りに
カラフルな水ヨーヨーがいっぱい。「どれにしようかな?」と釣り上げる表情は真剣そのものです。わくわく・どきどきの水ヨーヨー釣りでした。
●金魚すくい
赤や橙色の金魚たちが、たらいの中で泳いでいます。よく見ると、あれあれプラスチックのかわいい金魚たちではありませんか。でも、なぜか本物をすくっているかのように盛り上がりました。
●まとおて
紙飛行機や紙風船を作って、怪獣やおばけの的をねらいます。しっかりと折ることがコツ?日頃の折り紙への取り組みが成功のカギを握っていたのかも...
●くじ引き
引いたボールと同じ色の賞品がもらえます。なぜか兄弟で引くと、同じ色になってしまうのは不思議でした。大当たりの賞品はなんだったかな?

地域の方々や未就園児のお友達にも参加していただき、楽しく交流しました。宮城学院の環境を知っていただく良い機会になりました。



Information

【大学】

区分	学科	出願期間	試験日
推薦入学	全学科	10月29日(土)～11月4日(金)必着	11月12日(土)
一般入試(A日程)	全学科	1月5日(木)～1月19日(木)必着	2月4日(土) 音楽科は2日・3日に 専門試験を実施
一般入試(B日程)	全学科	2月17日(金)～2月24日(金)必着	3月7日(水)
大学入試センター試験 利用入試(A日程)	全学科	1月5日(木)～1月19日(木)必着	音楽科は2月3日(金)に 専門試験を実施
大学入試センター試験 利用入試(B日程)	全学科	2月17日(金)～2月24日(金)必着	音楽科は3月7日(水)に 専門試験を実施

【大学編入学】

区分	試験日
一般編入学試験(児童教育学科、食品栄養学科を除く8学科) TOEIC編入学試験(英文学科のみ)	11月12日(土)

【大学院修士課程 人文科学研究科/健康栄養学研究科】

研究科	専攻	試験日
人文科学研究科	英語・英米文学専攻 日本語・日本文学専攻 人間文化学専攻 生活文化デザイン学専攻	第一回/10月22日(土) 第二回/2月25日(土)
健康栄養学研究科	健康栄養学専攻	

◆資料請求・問い合わせ先：大学事務部入試広報担当 (022-279-5837)

2012年度 宮城学院入試等日程

【大学附属幼稚園】園児募集

願書配布	10月1日(土)～10月31日(月)
願書受付	11月1日(火)

◆資料請求・問い合わせ先：幼稚園事務室 (022-279-1344)

【中学校】

出願期間	12月5日(月)～12月20日(火)必着
試験日	1月6日(金)
試験科目	国語・算数・面接
合格発表	1月7日(土)

【高等学校】

	区 分	試験科目	試験日
推薦入試	一般推薦:Ad・Crコース 特別推薦:Crコースのみ	面接	1月12日(木)
	Adコース ※専願制あり Crコース ※専願制あり	国語・英語・数学 社会・理科 国語・英語・数学	2月3日(金)

◆資料請求・問い合わせ先：中高事務室 (022-279-1334)

Information

ご案内

大学オープンキャンパス

オープンキャンパス

12月3日(土) 12時半～15時  
in Winter

参加申込・問合せ先：大学事務部  
(受付12時～)

入試広報担当  
E-mail nyushi@mgua.ac.jp

中学入試説明会・対策講座

【中高入試説明会】

中学校 10月22日(土) 14時半～  
11月12日(土) 13時半～  
高等学校 10月29日(土) 13時半～  
11月19日(土) 13時半～

【中学入試対策講座】

11月26日(土) 13時半～  
参加申込・問合せ先：中高事務室  
E-mail  
info-chukoh@miyagi-gakuin.ac.jp

《サントリー一万人の第九》

《歌のある星へ》

場所、年代、思いを超えて心を  
ひとつに！サントリーの第九を  
歌い上げる。『サントリー一万人  
の第九』は、世界でも類をみな  
い大規模合唱コンサートです。  
総監督・指揮は、世界を舞台に  
活躍する佐渡裕(さど・ゆたか)  
さん。12月4日(日)、佐渡さんが  
指揮する大阪城ホールと本学大  
学講堂の合唱を中継で結ば  
ます。この観覧者を10月に募集予  
定です。詳しくは、宮城学院ホ  
ムページ等で確認ください。  
http://www.mgu.ac.jp/home/

参加ください  
一般公開行事

公開シンポジウム・講演会

2011年度学芸員課程  
シンポジウム 3.11

―そのときミュージアムは―

10月15日(土) 13時～17時

宮城学院女子大学C201  
講師 笠原信男氏(東北歴史博  
物館企画部長、有川幾夫  
氏(宮城県美術館 副館長)

発達科学研究所主催公開講演会

世界で一番幸福な国をマーク  
―その教育の秘密―

10月22日(土) 14時～16時

宮城学院女子大学C201  
講師 難波克彰氏(東海大学総合  
教育センター教授)

人文社会科学研究所公開講演会

3.11 その時、それから  
―世界と日本と東北と―

10月29日(土) 13時～16時  
仙台市青年文化センター3F  
エックホール  
発表者 J. F. モリス(本学教  
授、岩川亮(本学准教  
授、姚国利(本学教授、  
田中史郎(本学教授)

生涯学習センター一日講座

なかにしあかね女声合唱作品を  
楽しむ  
《歌うこと》  
《自分を表現すること》

生涯学習センター一日講座

11月6日(日) 10時～16時  
学生センター小ホール  
講師 なかにしあかね(本学教  
授、布田庸子(元本学教授  
、問い合せ先：生涯学習センター  
022(279)4341

2011年度キャリア支援について

学生支援グループ 菊田 敏秀

4年生への就職支援については、東日本大震災の影響を考慮し最大限の支援を展開しています。「最後まであきらめない気持ちで、就職活動に取り組む」ことを支援のテーマとしています。

5月、6月、8月の3回にわたり緊急セミナーを開催し、震災による企業採用の影響と対策、夏休み期間の就活の進め方などについてのアドバイスを行っています。

学内での個別企業説明会を、7月より、週2回開催しており、9月15日には学内で、合同説明会を予定しています。学生が、より多くの企業に接することで、進路を決定していくきっかけにしてほしいと考えています。

3年生に対しては、5月より毎週月曜日5校時に「就職ガイダンス」を開催しています。仕事・企業研究の中で、自分がマッチングする進路先を決定していくことにポイントを置いています。

卒業生の就職支援については、主として、①メール、FAXによる既卒求人情報の提供、②企業説明会などのイベント案内、③就職相談(履歴書・エントリーシート作成の指導、模擬面接)を行っています。企業が、既卒3年間を新卒と同等級いで採用する傾向が高まっており、既卒者の求人情報入手のツールとして活用できます。求人情報は、「宮城学院女子大学HPトップ⇒卒業生の方へ⇒既卒求人について」でアクセスできます。2010年度については、既卒求人問合せ、相談者は延べ109名に達しています。

大学全体としての、キャリア支援については従来のキャリア支援に加え、2010年度より、文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業(就業力を支える『役割観』の育成)」に採択され、宮城学院に入学した初年度から、自分のキャリア(進路、将来)を考える仕組みについての構築を着々と進らせています。



OGのつどいカフェに参加する学生たち

訃報

元家政学助教授  
吉村佳子様(58歳)には5月19日に逝去されました。  
元中高校聖書科非常勤講師  
大崎八重子様(84歳)には去る6月30日に逝去されました。  
元幼稚園教諭  
本宮俊子様(93歳)7月17日に逝去されました。  
元国際文化科国際文化学科教授 児玉誠樹様(71歳)には7月29日に逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表させていただきます。

理事・評議員・監事

松本宣郎様、菅原裕典様、清水恵子様、稲井慶子様、保科けい子様、齋藤淑子様、大坂田茂子様、伊藤香美子様、菊池順子様、心理行動科学科・人間文化学科、副手室一同様、高田利武様、後藤文男様、澤井清様、桂啓壯様、若生道子様、鎌谷光子様、藤村勇一様、亀谷恵美様、熊坂聡様、斎藤佐四郎様、匿名15名

※お名前は義援金受付順として  
おります。

教育環境整備資金  
募金者芳名

2011年4月1日～8月31日受付分  
◎募金総額 四三〇三三七一円  
(2011年9月31日現在)

大学

安孫子英男様、大友清一様、細谷義浩様、阿部勝英様

同窓会

小林雅子様、畠山桂子様、沖津徳子様、志賀順子様、佐藤正枝様、紺野喜代子様、匿名3名

役員

出村彰様

教職員

八巻仁一様、匿名1名

東日本大震災災害  
義援金芳名

◎募金総額 三九、九五六、〇一七円  
(2011年9月31日現在)

各団体・その他のみなさま

明瀬賢二様(日本基督教団元住吉教会員)、佐佐木邦子様、金城学院中学校・高等学校様、神戸松陰女子学院大学様、二見修次様(昭和音楽大学学長)、株式会社進研アド様、韓国紀全女子高等学校様、聖学院キリスト教センター(元大学教員)故伊澤佑子先生(遺族)、幸重雅也様(全日本金事務所様)、幸重雅也様(全日本高等学校オーケストラ連盟事務局長)、ASAHIネット様、有会社社エディション・シナプス様、白土陽子様、納谷廣美様、(財団法人)日本基準協会会長)、学校法人日本聾話学校様、星野命様、川村知哉様(株式会社栄美通信代表取締役)、Maria Weaver様、Peter brigg様、Anabel Stenzel様、田口秀子様、Marjorie Levy様、Mary Cavert様、christy woster様、Ryoko Okamoto様、Sterling Dare様、伊東信吉様(日本バプテスト連盟大富キリスト教会)、梅花中学校・高等学校生徒・保護者・教職員有志様、レオナルド・ルツッ様、中村勝芳様、キリスト教学校教育同盟様、山里純一様(琉球大学法文学部八重山芸能研究会)、株式会社世界思想社教学社様、佐々木明子様、学校法人九州学院様、桜美林中学校・高等学校様、学校法人女子学院様、全国私立大学教授会連合様、日本ト

同窓生

イツリード協会様、マザーアイ株式会社作曲家一同様、宮城私立中学校高等学校連合会様、辻家一同様(辻秀幸様・佐竹由美様・辻志明様・辻悦子様・辻裕久様・なかにしあかね様)、Twin triumph Productions.LLC様、Ms.Janell Landis様他20名様、Theodore P.Heuchling様、Tamera Holmquist、BusMrg様(エッジウッド高校)、十時絵里子様、神戸女学院大学様、Emily Oze様、鈴木智子様、学校法人フェリス女学院様、MG生協店頭募金箱より、大学行政管理学会様、ルース・M・グルーベル様(関西学院院長)、井上琢智様(関西学院大学学長)、Twin triumph Productions.LLC様、活水女子大学様、静岡英和学院大学(宗教部)ワンコインコンサート実行委員会様、原田勇様(学校法人酪農学園学園長、大富バプテスト教会様、とわの森三愛高等学校生徒教職員)一同様、匿名20名

小梅ゆかり様、岡田里美様・宇美かおり様・水田真木子(函館おひめの会)、藤井精子様、中村歌子様、佐々木ケイ様、同窓会名古屋支部有志様、渡邊美佐様、同窓会秋田支部様、矢幅和子様、宮城学院女子大学音楽科OG有志様、熊倉立英様、倉金和子様、有澤美幸様、森山那子様、大友喜久子様、園川悦子様・福野敦子様、相澤紀美恵様、横山紀美子様、山本えい子様、野田美保様、末永英子様、菊池英子様・小野田久美子様、畠山桂子様、関佑子様、山本幸子様、川野恵子様、佐藤澄子様、結城真由美様、太田道子様